

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（平成29年第3報の続報）

平成29年5月30日に発表した、福井健康福祉センター管内において発生した腸管出血性大腸菌感染症（平成29年第3報）に関して、発表時以降、新たに判明した内容および経過は次のとおりである。

1 接触者の状況

衛生環境研究センターで実施した接触者7名の検便の結果、1名（10代女性）の便から腸管出血性大腸菌O157およびベロ毒素を検出した。当該患者1名に症状はない。（無症状病原体保有者）

残り5名は陰性であった。（1名検査中）

なお、当該患者の接触者1名（症状なし）に対し検便を実施する。

（ 前回（第3報）の概要
患者 福井健康福祉センター管内在住の10代 女性 1名
患者の主な症状：腹痛、水様性下痢、血便、発熱
現在の状態：症状は回復している。 ）

2 対応

福井健康福祉センターにおいて、次の措置を実施した。

- ① 本人の健康状態、行動および喫食状況を調査
- ② 衛生教育の実施
- ③ 自宅等の消毒の指示 ※食中毒については、その可能性も含め医薬食品・衛生課（0776-20-0354）で調査中です。

3 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

| | | 平成27年 | 平成28年 (全国は暫定数) | 平成29年 (全国は5月21日現在) | 備考 |
|-----|----------|-------|-------------------|-----------------------|-----------|
| 全国 | 届出数 (人) | 3,573 | 3,619 | 388 | 昨年同期：309人 |
| 福井県 | 発生件数 (件) | 17 | 19 | 6 | 昨年同期：3件 |
| | 届出数 (人) | 25 | 29 | 7 | 昨年同期：3人 |
| | 有症者 (人) | 16 | 20 | 4 | 昨年同期：2人 |
| | 無症者 (人) | 9 | 9 | 3 | 昨年同期：1人 |
| | 初発 (月日) | 3/19 | 3/25 | 5/17 | |
| | 最終 (月日) | 11/10 | 11/28 | | |

※ 腸管出血性大腸菌感染症の発生がありましたので、以下のことを徹底してください。

感染を予防するには、各家庭において次の事項に留意することが大切です。また、腹痛や下痢、血便等の症状がある場合には調理等を行うことを控え、早めに医療機関を受診しましょう。

- ① 少量の菌で感染が成立することから、手洗いが最も重要です。特に調理や食事の前、用便後や便の始末をした際には十分に手を洗いましょう。
- ② 調理器具は食品ごとにこまめに流水で洗い、熱湯をかけておきましょう。
- ③ 生野菜は流水でよく洗い、肉類や加熱する食品は十分に加熱（中心部を75℃で1分間以上）しましょう。
→生食用の牛レバーおよび豚肉（内臓を含む。）は提供・販売されていません。
- ④ 焼肉をする場合は、生肉専用の箸を用いるなど、箸の使い分けをしましょう。